

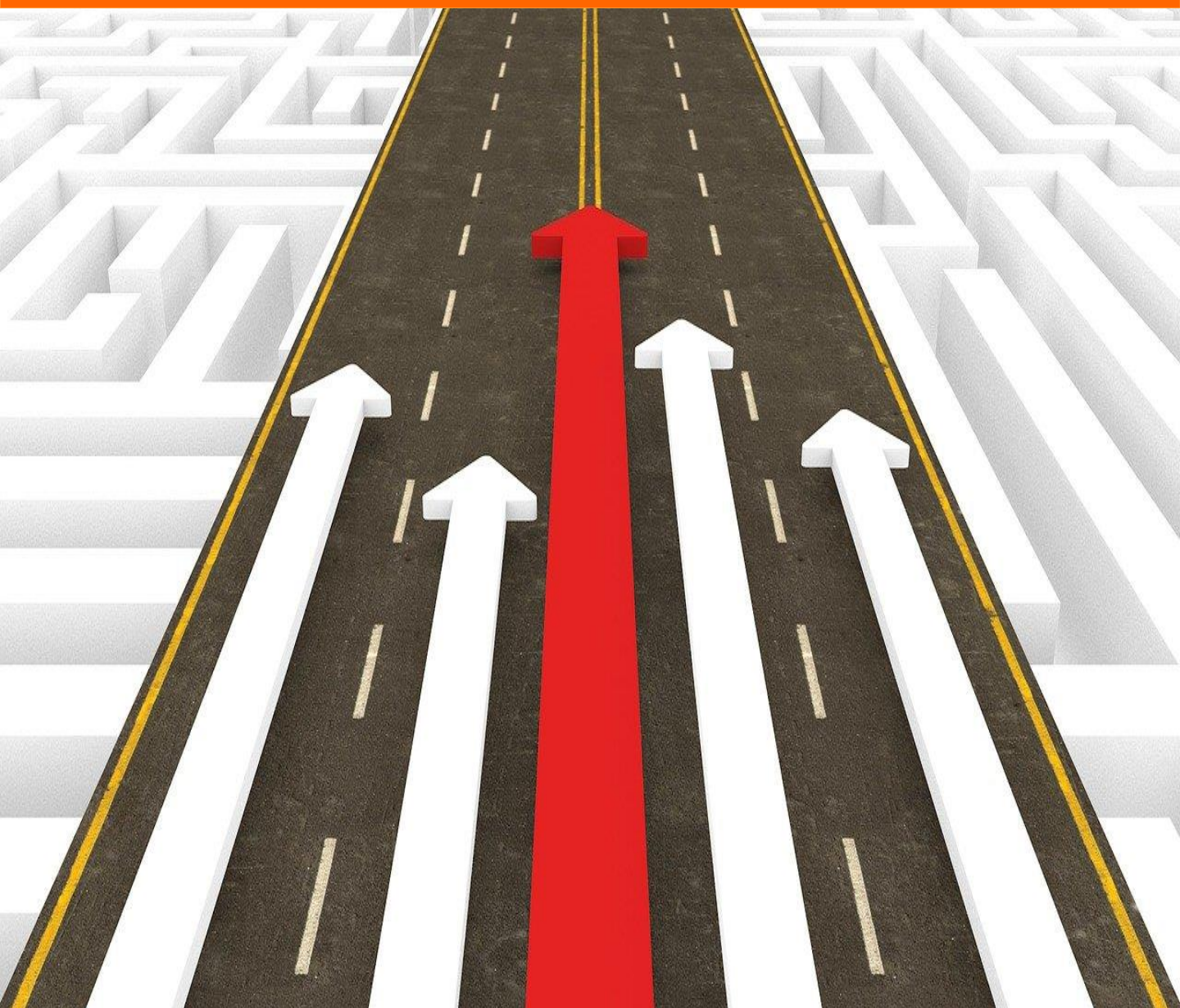
次世代技術活用 ビジネスイノベーション 創出事業

2020

令和二年度

新しい挑戦から
強い事業を創出するために

(2020.04~2021.03)



次世代技術活用 ビジネスイノベーション 創出事業

本事業は、2年目を迎えましたが、初年度と変わらず、県内中小企業の産業活性を念頭に置き、一貫した支援を続けてきました。

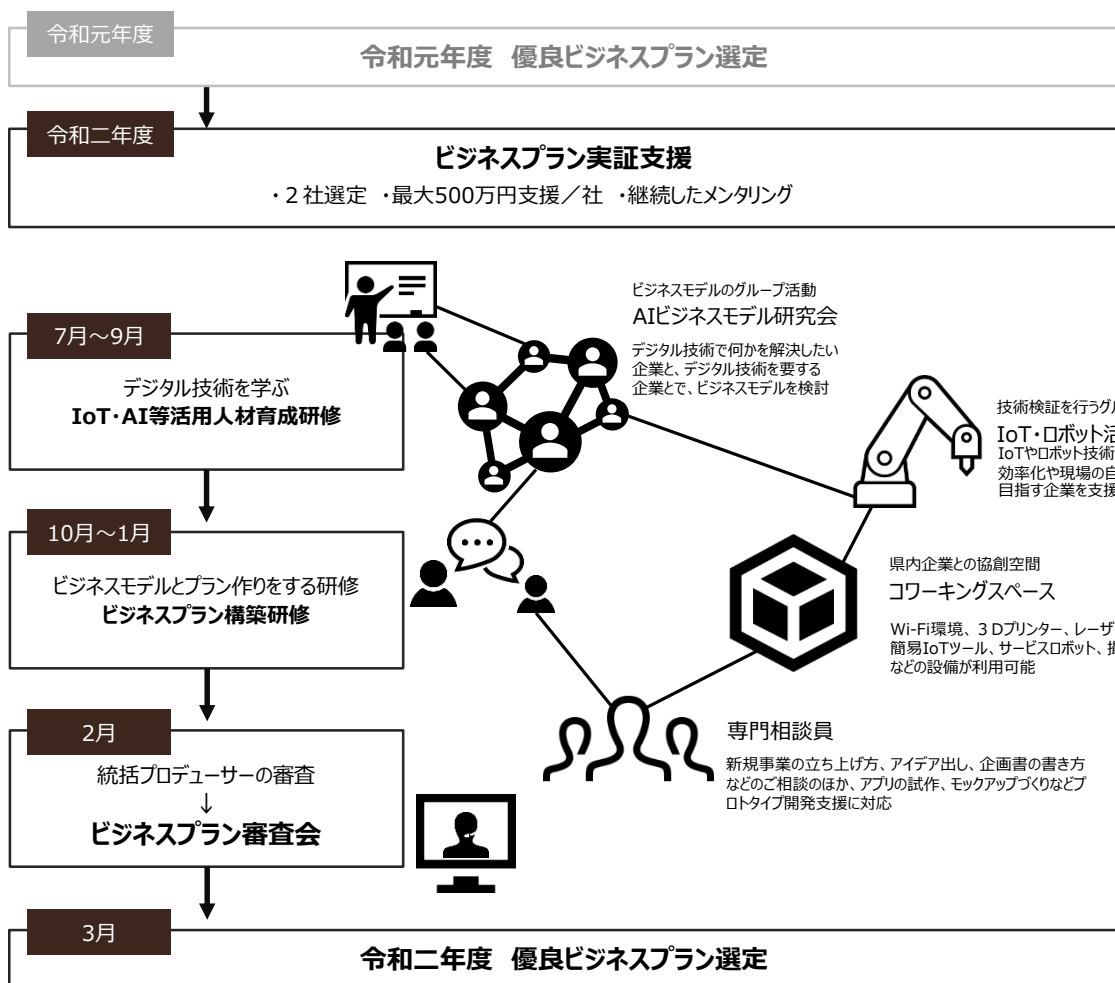
次世代技術であるIoT・AI等デジタル技術を習得する講座を実施。次にビジネスモデルの考え方、ビジネスプランづくりの勘所といった講義、最後は実際に事業アイデアをビジネスプランに落とし込み、収支計画まで作成するという活動を、多彩なメンター、プレイヤーとの連携から推進しました。

結果として、初年度の実証事例の進化と併せて、茨城県の未来を担う可能性を秘めたビジネスプランが複数誕生し、そのプランを実現する人材の成長から、事業変革の人材面の裾野も拡がりを見せています。

本事業の年間活動報告として、活動成果を本冊子に記載しています。ご一読いただけますと幸いです。



統括プロデューサー | TXアントレプレナーパートナーズ
尾崎 典明





茨城発！新ビジネス 事業化に向けた実証支援 活動事例

立案したビジネスプランが新たな事業の柱となることを目標に、事業化のために必要な課題に取り組みます。新規事業のためのビジネスプラン実証を試みる資金的助成により、生産工程の効率化や試作・製品開発、あるいは、資金の適切な運用や技術開発のための人材、知財戦略の検討、市場調査など、技術経営マネジメントも取り入れ、テーマごとのメンタリング支援を行い、未来にチャレンジする次世代技術活用企業へと成長することを目指します。

令和元年度のビジネスプラン構築研修参加企業のうち、事業化に向けて実証支援を行った2つの企業の活動についてご紹介します。

一般社団法人 つばグローバル・イノベーション推進機構

実証支援1 株式会社東京電機（つくば市）

非常用発電装置のリーディングカンパニー。悪路走行性の高い、ゴムクローラー式移動電源車を開発。



ゴムクローラー式移動電源車は、株式会社諸岡（龍ヶ崎市）と株式会社東京電機（つくば市）が共同開発しました。

停電災害から日本を守るソリューションを茨城から

近年の自然災害による停電被害は、ここ数年激しさを増しています。特に大型台風による停電被害は深刻なものがあがり、復旧難航地域で電源供給までの時間を短縮することは、被害の最小化にもつながります。そこで諸岡のゴムクローラー、東京電機の発電装置、両社の得意分野を掛け合わせたコラボ製品の開発を企画しました。



ビジネスプラン構築研修では、事業構想の体系的な考え方を学ぶことができました。顧客課題の明確化、販売ターゲットの絞り込み、市場規模の予測、競争優位性など、新事業の立ち上げに必要な視点から、自分たちの事業を見直すことができましたことが収穫です。事業化への足掛かりをつけることができました。試作機は完成したので、売るための準備を行います。市場の認知度を上げるべく、動きます。

実証支援2 株式会社ハリガイ工業（常総市）

部品づくりのプロから、製品づくりのプロへ。ゴムと炭素繊維の複合素材CFR（Carbon Fiber Rubber）を開発。



新素材「CFR」は、耐衝撃性が非常に高い、高機能性ゴムシートです。導電、電磁波シールド、放熱、耐熱（基布のみ）などの特性があります。

強度としなやかさを合わせ持つ、 炭素繊維入りゴムシート「CFR」の開発



炭素繊維とゴムを直接接着するのは難しいとされていました。しかし、ゴムや接着剤、加工条件など様々な組み合わせを試行錯誤し、結合技術を独自開発。シート状に成型加工することに成功しました。新素材「CFR」の誕生です。

特徴は、従来のゴムシートや引布と比べ、耐衝撃性が非常に高いこと。どうすればこの素材を活かせるのか。売り先を見つけることが課題でした。本事業で行った顧客ヒアリングを通じて、ニーズ確認できたことが、適用領域や販路開拓の糸口になりました。今年度行った活動（技術面、販促面での取組）は、ヒアリング結果に基づくものです。

産業技術イノベーションセンターには、普段からお世話になっています。特に繊維高分子研究所には研究開発面で技術支援をいただいています。



令和二年度優良ビジネスプラン 選定3社に聞く ビジネスプラン構築研修

令和二年度の審査会で、優良ビジネスプランに採択された皆さんに、
ビジネスプラン構築研修に参加した感想を伺いました。

令和三年度は、これらの会社がプラン実証に向けて動き出す予定です。

株式会社ツインカプセラ（つくば市）



代表取締役
宮崎和宏

再突入カプセルの技術を活用 超高性能輸送用保冷・保温コンテナの提供

もともと起業することを考えていたので、この研修は非常にタイミングもよく、お陰様で研修後すぐに会社を設立することができました。

研修の場やメンタリングを通して、起業した経験をお持ちの方やメンターの方から定期的に意見を伺うことができ、とても刺激になりましたし、決められた期日に向けて資料作成をすることも、よいペースメーカーとして機能しました。

アイデアをブラッシュアップしながら、自身のやりたいことのイメージをクリアにしていくことができますので、漠然としていても、**何らかのビジネスアイデアをお持ちの方は、是非参加されるとよい**かと思います。

研修を通じて作ったプレゼン資料は、研修前に独自に作っていたものと比べると、見違えるようになったと思います。

また、作成した事業計画は、融資の獲得や連携先との調整、顧客へのPRなどにそのまま活用できそうで、大変ありがたいです。

株式会社久力製作所（行方市）



取締役
久力秀行

センサを用い、防犯レベルと使い勝手を向上したNewスッキリ鎌錠の開発

今回は、お客様と企画していたプランを持ち込む形で、研修に参加しました。参加をきっかけに、**良い意味で社員の意識が変わってきた**と感じています。

もともと製造業なため、造ることは本業。とにかく開発して、造りながら着地点を探すようなやり方をしていました。それが、メンターからの指導は**真逆のアプローチ**だったのです。

まずイメージする。そして造る。造った後は、すぐ試してもらい、フィードバックをいただく。それを繰り返し、ブラッシュアップしていきました。

この一連のやりとりを通じて、現場からお客様に**アイデアを出すことにためらいがなくなりました**。むしろアイデアは出した方がよいこと。お客様とのコミュニケーションを重ねることで、製品が磨かれていくことを経験できたこと。これが一番の収穫だったと思います。

今回作成した企画書は、これから社内発表する予定です。関係者以外の社員たちの反応がとても楽しみです。

株式会社クリアクト（水戸市）



代表取締役
中庭伊織

AI画像認識技術を活用した「医療備品の検査サービス」

今回の研修では、メンターさんにだいぶ叩かれまして（笑）。ああ、こういう視点もあるのだな、とだいぶ気づかせてもらいました。

フィードバックをもらえるという意味では、参加者には色々な方がおられ、それぞれ言うことも異なるため、正直どうしたらよいのか迷うこともありました。

ただ、**聞く人の立場によって同じ内容でも印象が異なること、それぞれが納得する内容を盛り込まなければならない**ことを学べたと思っています。

コロナ禍であり対面でのやりとりができませんでしたが、ZoomやSlackといったツールを使うことで、問題なくコミュニケーションできました。基本的にオンラインでの研修でしたので、ムリなく参加できました。

メンターから細かくアドバイスいただくこともできましたし、会社を運営しながら、時間を有効に活用できたと思っています。



令和元年度参加事業者との プロトタイピング活動

令和元年度の研修に参加した企業様との、その後の活動事例です。令和二年度に行った、IT技術を用いた、プロトタイピング開発支援を中心に紹介します。

KITSUNE INDUSTRIES (那珂市)



ものをつくる、新しい自分を作る DIY工房、ホームページを立ち上げる

製材所であることの強みを活かし、工房を開業。木工を中心とした「ワークショップ」を開催・企画している企業様です。令和元年度の研修にご参加いただきました。

この企業様は、潜在的にモノづくりが好きな人たち（DIY男子・女子）に、作る楽しさ、作る場所、作る道具を提供。DIYの経験や知識を媒介に、コミュニティを作ろうと目指して活動されています。

工房では、この活動をもっと世の中に知ってほしいという思いから、ホームページもDIY。この技術支援をコワーキングスペースで行いました。

自分の手で何かを作ったときに生まれる達成感と充実感。「もっとやってみたい」という衝動。そうした感情に寄り添っていくというコンセプトで、自身の工房も、自ら道具を握りしめて自作。この志を意気に感じ、コワーキングスペースのスタッフの面々も、木工ワークショップ体験してきました。身体を使ってものを作るのは楽しいです！徐々に五感が開き、童心に戻りました（笑）。

有限会社平賀石材店 (城里町)



石材×デジタル スマホアプリでつながりを強めたい

墓石販売をメインに、仏具用品販売、お香教室、終活相談など、多岐にわたり事業展開されている企業様です。

創業から85年。お客様と共に歩むことを本分とされ、地域に根差した、ある意味アナログな企業様です。

コワーキングスペースへのご相談は、こうでした。どうしたら今いるお客様とのつながりをもっと深められるのか。新しいお客様を迎えられるのか。一人でできることには限界がある。デジタルの力で、何かできることはないか。

共にアイデアを出しながら、お客様へのアプローチを、あれこれ検討してきました。現在たどりついたのは、スマートフォン。既存のお客様とのコミュニケーションを強化するため、スマホアプリの試作を試みています。

相談を重ねることで、今まで触れる機会が少なかったデジタル技術に触れ、スマホアプリにたどり着き、自らオンラインのサービスを使った展開も発案されるまでになりました。

株式会社フジヨシ (筑西市)



LINEを使ったチャットボットで 悩みを抱えた方のメンタルを守りたい

総合人材サービス業を行っている企業様です。悩みを抱えた方のカウンセリングルーム「ココログッド」を立ち上げました。

「ココログッド」は、悩みごとの内容に応じて専門家が、対面またはオンライン上でカウンセリングしてくれるサービスです。コワーキングスペースでは、このサービスを試作するにあたり、LINEのチャットボットを使ったプロトタイプを提案しました。

お客様がカウンセリングを受ける前に知りたい情報を気軽に知ることができること。利用者は、操作に迷うことなく簡単なボタン操作で情報を得られること。企業様が作成したオリジナルのシナリオを使って、情報提供できるようにすること。今回は、開発コストを抑えるという意味で、既存のアプリを採用しました。

サービス内容をご紹介するほか、カウンセリングを受けることに踏み出せないお客様が、少しでもカウンセリングを受けるきっかけになれるように作成したサービスです。



IoT・AI等活用人材育成講座

富士通株式会社

内容の専門性も、交流を重視している点も、新たな価値を提供いただけるワークショップと感じ、感謝しております。



参加者の声

新たなテクノロジーについての知識を深め、デジタル技術の仕組みを理解していただき、その上でデータ活用方法や新ビジネスの企画立案を行う講座です。

経営者向け	IT初級者向け	IT中級者向け
<p>7月</p> <p>経営者向けDX推進ワークショップ [1日]</p> <p>経営層の方々が、アイデアを出し合い、実際にビジネス構想を練り上げていくことをワークショップ形式で体験していただく講座です。</p> 	<p>7月</p> <p>IoT・AI活用基礎講座[2日]</p> <p>アプリケーション開発基礎講座[1日]</p> <p>データ分析基礎講座[2日]</p> <p>ビジネスへのデジタル技術の具体的な活用方法を講義と技術開発を合わせて体験することで目利き力を高めていただく講座です。</p> 	<p>7月、8月、9月</p> <p>データ分析基礎講座[2日]</p> <p>IoT/Pythonを活用したデータ活用講座[5日]</p> <p>アプリケーション開発実践講座[3日]</p> <p>ビジネスに必要なデジタルデータベース収集、データ分析技術を通じてIoT、AI、ウェブアプリの開発を通じて体験し技術力を高める講座です。</p> 
<p>8月、9月</p> <p>デジタル技術活用ビジネス創出ワークショップ [2日]</p> <p>上記3講座の受講者を対象としたワークショップです。他者及び富士通のエンジニアと連携してワークショップを行い、デジタル技術を掛け合わせたビジネスアイデアの企画と、試作品を作成することで、協創力を高めます。このワークショップのアウトプットは、後段のビジネスプラン構築研修につながる企画書と試作品になります。この2点を短期間で完成させます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="261 1529 462 1721">  <p>ペット関連サービス</p> </div> <div data-bbox="541 1529 636 1721">  <p>農業関連サービス</p> </div> <div data-bbox="733 1529 991 1721">  <p>地元茶関連サービス</p> </div> <div data-bbox="1072 1529 1182 1721">  <p>チャットボットサービス</p> </div> </div> <p>※これらはワークショップで発表された試作アイデアの一部です。</p>		



デジタル技術を活用した ビジネスイノベーションセミナー

富士通株式会社



交流セッションDay（登壇者とざっばらんに語り合う、クロストークの時間を設けました）

ビジネスマッチングの場所にしたい。
コワーキングスペースに期待しています！



参加者の声

IoT・AIでビジネスをどう変えるのか。正解は1つではありません。全6回のセミナーを通じ、実践事例、中小企業の取組、デジタルの使い方、有識者との交流等、ビジネス変革を推進していくための知見を獲得していただけます。

第1回 デジタル編



9/25
茨城県産業
技術イノベ
ーションセンター



神谷 雅史 **西川 安奈**
(株)CAMI&Co CEO
IoT/DX スタートアップ

なぜ、デジタル技術で事業変革できるのか

デジタル活用による製造現場のデジタル化や試作支援によって事業を変革した実践的な事例や、事業価値を高めていくために欠かせない思考や行動、技術的な知見等をご紹介します。また、参加者と登壇者による交流会を実施し、デジタル活用推進ポイントも併せて紹介しました。

第2回 製造業編



10/16
オンライン

永井 俊輔
クレストホールディングス(株)
代表取締役社長

看板業が5年で売上急伸したワケ

地方の看板業からテクノロジー企業へ変貌し、花形企業へ。「教科書通りのことを本気でやれば、レガシー産業でも利益を上げられる（インタビュー記事より）」活動の中で培われた、マインドや推進ポイントをご紹介します。

第3回 サービス業編



11/11
つくば

大島 章
(株)Doog
代表取締役社長

Doog社が仕掛ける運搬イノベーション

運搬物にデジタル技術を組合せた自動運転ロボットで、サービス業（物流、宿泊業等）の業務変革を促すとともに、海外展開も進めています。技術開発や製品開発のみならず、ビジネスや事業変革するための、マインドや推進ポイントをご紹介します。

第4回 異業種連携編



12/11
茨城県産業
技術イノベ
ーションセンター



浮田 博文 **塩谷 愛**
FUJITSU (株)パソナグループ
ACCELERATOR代表 イノベーター/コネクター

なぜ、価値創造に他社連携が必要なのか

大学時代から学生起業家として京都の伝統産業再生プロジェクトや起業家育成プロジェクトを立ち上げてきた塩谷氏。TechShop東京やスタートアップ協業プログラムの設立に携わってきた浮田氏。他社連携に欠かせない活動ポイントを語っていただきました。

第5回 海外動向編



2/1
オンライン

大森 彩子
日本マイクロソフト(株)
テクニカルエバンジェリスト

マイクロソフトが取り組む最先端テクノロジー

マイクロソフト社における、国内外の、中小企業向けの取組の紹介や、クラウドや人工知能を始めとする先端テクノロジー（AzureやCognitive等）のデモンストラーションを実際に見ていただくことで、次世代技術をより身近に感じていただきました。

第6回 DX最新動向 同時開催 事業報告会



3/5
オンライン



江本 祐太郎 **井上 拓也**
01Booster(株) 富士通(株)
デジタルイノベーター

多様な業界におけるデジタル変革事例

技術が日々進歩していき、新しいビジネス事例が生まれ続けている製造・流通・医療などの富士通グループの顧客支援について取り組みをご紹介しますほか、登壇者との交流を通して、事業変革推進の実践ポイントを共有しました。



ビジネスプラン構築研修

TXアントレプレナーパートナーズ

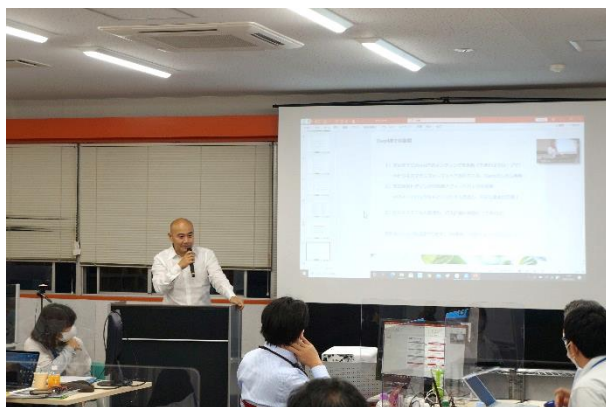
- ・想像以上に実践的。
- ・自分の弱い部分が見えてきた。
- ・横のつながりに興味が湧いた。
- ・何回もビボットしてもしっかりメンタリングしてもらえたおかげで強みを活かせるビジネスプランになった。



参加者の声

起業家、エンジェル投資家、弁護士、コンサルタントなど多彩な専門分野のメンターが指導にあたり、チーム単位でピアメンタリングやシャッフルメンタリングを繰り返し、企業ごとにビジネスプランを作成しました。作成した企画書は「発表会」「審査会」と2回のプレゼンテーションを経て審査され、優秀プラン3社が選定されます。

10月 1回目	講義	①ビジネスモデルの考え方 ②自社の強みは何か？ ③お客様は誰か？ ④ビジネスモデルキャンバス
2回目	講義	⑤ビジネスプラン作成の勘所 ⑥事業を強くする知的財産 ⑦収支計画のつくり方
↑ 各自ビジネスプラン作成 個別メンタリング ↓		
10月 3回目	ワーク	・進捗発表 ・ピアメンタリング ・シャッフルメンタリング
↑ 各自ビジネスプラン作成 個別メンタリング ↓		
11月 4回目	ワーク	・進捗発表 ・ピアメンタリング ・シャッフルメンタリング
↑ 各自ビジネスプラン作成 個別メンタリング ↓		
12月 5回目	ワーク	・全体中間発表 ・メンタリング
↑ 各自ビジネスプラン作成 個別メンタリング ↓		
1月 6回目	プレゼン	最終発表会



※講義はオンラインとのハイブリッドで開催





AI・ビジネスモデル研究会

株式会社アイ・コネクト

同じようなニーズや課題をもつユーザー事業者グループと、それを解決する技術を保有するIT事業者でグループを形成し、意見交換や検証を行いながらビジネスプラン構築や事業化を目指すグループ型の研究会です。



事例1

旅館グループ



参加企業：旅館等 6社2団体
課題：マルチタスク人材の作業効率化
状況：スタッフ間情報共有に用いるアプリについて検討した。グループ参加企業がビジネスプランを作成し、ビジネスプラン審査会で発表した。



旅館グループ参加企業の声
としまや 月浜の湯（北茨城市）
専務取締役 渡辺功記
 ITを使って事業をどう効率化できるのか。サービス業は事業者自身よく理解できていない。この事業に参加し、ようやくわかってきたようなところがある。IT事業者の知見や、同業者の経営視点を得られたのは良かった。

事例2

商店街グループ



参加企業：商店街等 6社1団体
課題：イベントの効果分析と次回開催に向けた計画立案
状況：イベントチケットの電子化について検討した。県のモバイルオーダーシステムを用いて、水戸市内の商店街の実店舗で実証実験を実施した。



商店街グループ参加団体の声
泉町2丁目商店街振興組合（水戸市）
副理事長 秋山道
 商店街や街の個店も今後はITやAIを利用した取組を行っていかねばならない時代である。研究会に参加したことで、これまで紙チケットで実施していたイベントの電子化について、一歩前進させることができた。

IoT・ロボット活用分科会

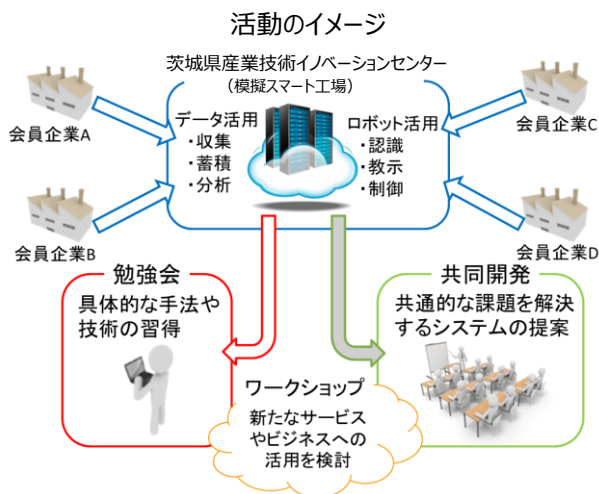
茨城県産業技術イノベーションセンターに整備された模擬スマート工場を中心として、IoTやロボットの技術を活用したデジタル化のデモや実証に企業の皆様と取り組みながら、業務の効率化や現場の自動化・省力化の可能性検証や技術導入を支援する活動グループです。

活用事例

株式会社小澤鐵工所（日立市）
専務 小澤裕太



主に自動車・船舶部品の機械加工を行っている企業です。自社の工程を自動化するにあたってセンターにロボットハンドの部分の動作検証にご協力いただき、必要な時にすぐに設置・作業できる多能工ロボットを導入することができました。現在はセンターの研修等を活用して、自社でロボットの教示もできるようになり、新たな自動化に向けて検討を進めております。





コワーキングスペース

富士通株式会社

ビジネスプランづくりやプロトタイプの開発等、相談員が在室し（週2日）、新ビジネス創出に関心のある方をサポートします。

新しい事業を立ち上げたいが、進め方がわからない、
アイデアの出し方、企画書の作り方を知りたい
企業同士の交流を持ちたい

企業相談・企業交流

課題を整理する、ともに考える、解決案を提示する、ビジネスモデルを可視化する等、企業様の悩みに答えるべく、アウトプットづくりをするほか、利用企業間での交流を進めます。

- ・新たなビジネスを探るための個別相談
- ・想定顧客や市場調査のためのデータベースの検索
- ・セミナー等での利用会員の交流
- ・ビジネスやIoTを知るためのミニワークショップ



3Dプリンタやレーザーカッター等を使
った部品の試作、あるいは
IoTで何ができるか知りたい

プロトタイプ支援

企業相談に来られた方やビジネスプラン構築研修に参加されてい
る方を中心に、実際に触れられるサービスを作りたいというニーズ
に、MVP（Minimum Viable Product：顧客に価値を提供
できる最小限の製品）を作成します。

- ・スマートフォンアプリ開発
- ・Webフロントサービス開発
- ・センサー類を活用した簡易装置の相談等
- ・3Dプロトタイプ支援



経営デザイン
シート作成支援

株式会社三友製作所

（医療用分析機器関連製品、電子顕微鏡関連の付属品、半導体故障解析用ツールの製造）
取り巻く環境変化が激しい業界において、自社の未来戦略を描くため、政府推奨の戦略ツール「経営デザインシート」を用いた協働活動を行いました。自社の技術評価、差異化領域を調査した上で、未来への打ち手を試行しました。



AdobeXDを
用いたスマホ
アプリの試作

食品卸売企業

（飲食店様向け製品の開発（調味料等）・販売）
飲食店様が行う受発注業務を簡便にするために、自社のノウハウを生かしたサービスの設計、AdobeXDを用いたアプリケーションの画面や機能の設計、スマホアプリのプロトタイプ実装の支援を行いました。



3Dプリンタや
NC加工機での
サンプル造形

靴製造販売店

（足の不自由な方向向けのオーダーメイドシューズの特注製造販売）
遠隔で顧客の足の形を入手する方法を試すために、デジタル技術を活用して足をデータ化しました。方法は、被験者の足を3Dスキャナーにて型どりし、そのスキャンデータを3Dプリンターにて造形。今後は、造形した足型を使って靴の製造を試していきます。



センシングによる
データ収集
データ分析

酒造メーカー

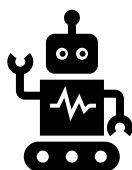
（日本酒製造）
酒造工程の一部である酒母工程からデータの取得を行うため、IoT機器のプロトタイプを作成。2回に分けてデータをセンシングし、遠隔地からWebを通じてデータの収集及びモニタリングを実施しました。取得したデータはクラウドにアップロードし、データ分析・可視化するという支援を行いました。



ツールの操作
研修、ミニ
セミナー等の
企画・運営

ツール勉強会（9/25開催）

コロナ禍で各企業が働き方を見直し始めました。それに伴い、ネット上にさまざまなオンラインツールが登場しています。中でも各企業がこぞって使用しているWeb会議ツールの「ZOOM」とチームコミュニケーションツールの「slack」にテーマを絞り、勉強会を開催しました。ご自身が普段お使いのPCやスマートフォンを持参いただき、実際に操作しながらオンラインでのコミュニケーションを体感していただきました。



当センターに導入したデジタル実証ツール

茨城県産業技術イノベーションセンター

IoT、ロボット、顔認証、モバイルオーダーなど、新たに生産性向上やビジネス展開に取組もうという時に
お使いいただけるデジタル関連ツールです。お試しください。ぜひご活用ください。



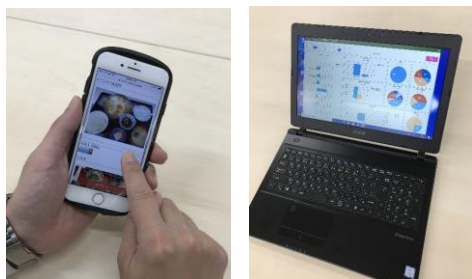
ロボホン (SHARP)

会話や動作により、人とコミュニケーションをとることができます。
様々な機能があり、受付や案内、留守番などに活用できます。
プログラミングすることでさらに高度な活用もできます。



顔認証システム

カメラで捉えた客の顔画像と予め登録された顔画像とを照合し、
客の来店履歴などを店員のスマホ等に送ります。店員間で顧
客情報の共有ができます。



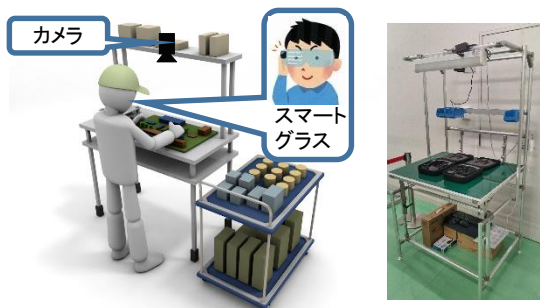
モバイルオーダーシステム

客が飲食店などのメニューをスマホに表示して注文ができる、
アプリ不要のシステムです。店側は売れ筋メニューや顧客情
報をグラフ表示で見られます。



RFIDリーダーライター

無線ICタグ(RFID)を用いて、物の有無や検出された時間等
を記録し、在庫管理システムや入室管理システムのような
所在管理の検証を行うことができます。



作業支援ツール

作業者の手元をカメラで写し、組立の順番や部品の間違い
等を検出して知らせます。また、スマートグラスによる作業指
示の確認等を試すことができます。



稼働監視ツール

生産設備等に用いられているPLCやタッチパネル、積層信号
灯の情報をセンサやカメラを用いて取得・蓄積し、各種情報を
分析することで作業の最適化等の検証ができます。

発行

茨城県産業戦略部技術振興局技術革新課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978 - 6
TEL029-301-3579

**茨城県産業技術イノベーションセンター
イノベーション戦略部新ビジネス支援グループ**

〒311-3195 茨城県東茨城郡茨城町長岡3781-1
TEL029-293-7212(代)

E-mail : bcreation@itic.pref.ibaraki.jp

URL : <http://www.itic.pref.ibaraki.jp>



コワーキングスペース
ホームページ

この冊子は、茨城県が実施する「次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業」の委託を受けて、富士通株式会社が制作しています。

2021年3月